

次世代の子ども達の未来を考えよう



SDGs×ながさきプロジェクト

つなぐBANK

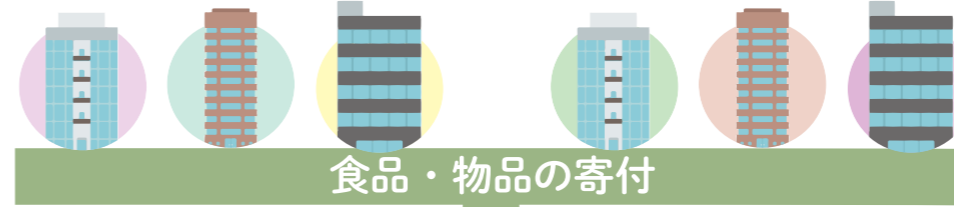
フード&グッズ

一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきは、SDGs達成の観点から貧困支援やフードロス削減を目指し、企業や県民の皆さまから食品や学用品などの寄付を募り、県内のひとり親家庭へ無償で提供する「つなぐBANK」プロジェクトに取り組んでいます。3月にSDGs宣言を行った長崎新聞社をはじめ、多くの企業・団体も本プロジェクトに賛同しています。SDGsの達成、社会全体で次世代の子ども達を見守っていくためにも皆さまのご協力をお願いします。

協力企業・団体
募集中!!

つなぐBANKの趣旨・活動に賛同をいただき、支援をしてくださる企業・団体を募集しています。本広告の売上の一部は、プロジェクトの活動資金として活用させていただきます。
お問い合わせ 長崎新聞社 地域ソリューション部 TEL:095-844-4874

協力企業・団体の皆さん



トピック | まもなく夏休み…

給食費は1か月約4,000円～5,000円
給食のない夏休みの食費に換算すると
1日あたり200円～250円。
困窮世帯では子どもの食事をカップ麺や
コンビニのおにぎりで済ませることも。

夏休み後
体重が減っている子がいる
カルシウム不足、食塩摂取の
増加で栄養バランスを崩すのでは

給食がない夏休み期間の
皆さまからの食品の寄付は、
このような不安を除き子ども達の
「体重や健康」の支えに繋がります
(情報提供/一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき)

							全5回掲載(第2回) 今回は10月上旬掲載予定